

家計調査の結果を見る際のポイント No.8

うるう年における2月分の消費支出

1. 日数の影響

家計調査(二人以上の世帯)で公表している1世帯当たり平均の消費支出額は、12か月を周期とする季節的な変動の影響を受けています。その季節的な変動要素の一つとして、1か月間の日数があります。そこで、家計調査の結果を、前年同月と比較した増減率で示したり、移動平均を用いた季節調整法により調整を行った上で前月と比較した増減率で示したりしています。

しかし、4年に1度訪れるうるう年の2月の日数は29日で、通常の年の2月(28日)に比べて1日多くなっており、消費支出金額やその内訳の前年同月比を見る際には注意が必要です。また、家計調査の季節調整済み結果はうるう年の調整をしていませんので、当該結果による前月比を見る際にも注意が必要です。

2. 消費支出の前年同月比はおおよそ2.3ポイント程度かさ上げ

家計調査では、月極めでの支払いが多い品目^{注1)}を除いた日別支出の結果表^{注2)}を公表しています。そこで、うるう年を調整する簡便な方法として、この結果から平成20年2月28日^{注3)}の支出分を除いてみると、消費支出全体で前年同月比は名目1.2%の減少となり、公表値の方が2.3ポイント程度高くなっています(表)。

項目	支出金額(円)				対前年同月名目増減率(%)		
	平成19年2月 公表値	20年2月 公表値	20年2月 28日 ^{注3)}	20年2月 うるう年調整後	公表値	うるう年調整	差
消費支出	272,763	275,827	6,440	269,387	1.1	-1.2	2.3
食料	61,888	63,981	2,091	61,890	3.4	0.0	3.4
住居	15,471	14,191	607	13,584	-8.3	-12.2	3.9
光熱・水道	26,445	30,165	146	30,019	14.1	13.5	0.6
家具・家事用品	7,328	8,285	196	8,089	13.1	10.4	2.7
被服及び履物	10,430	10,215	246	9,969	-2.1	-4.4	2.3
保健医療	12,288	13,294	363	12,931	8.2	5.2	3.0
交通・通信	34,805	33,884	402	33,482	-2.6	-3.8	1.2
教育	12,405	12,274	14	12,260	-1.1	-1.2	0.1
教養娯楽	28,060	28,106	431	27,675	0.2	-1.4	1.6
その他の消費支出	63,644	61,432	1,945	59,487	-3.5	-6.5	3.0
諸雑費	22,538	20,778	519	20,259	-7.8	-10.1	2.3
消費支出(除く住居等)	235,177	243,576	5,119	238,457	3.6	1.4	2.2

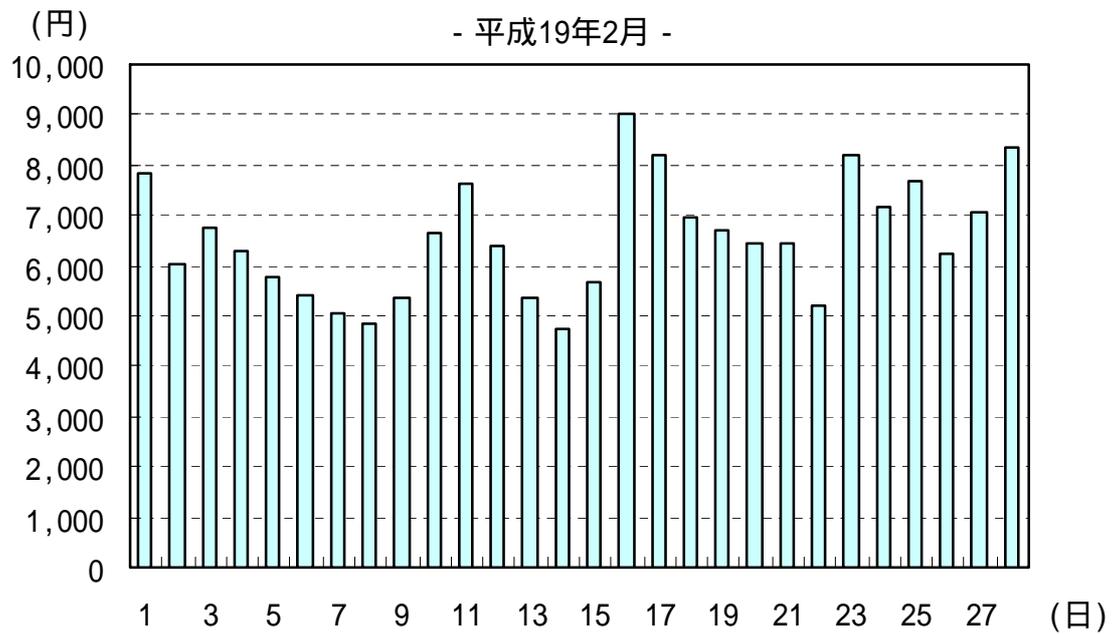
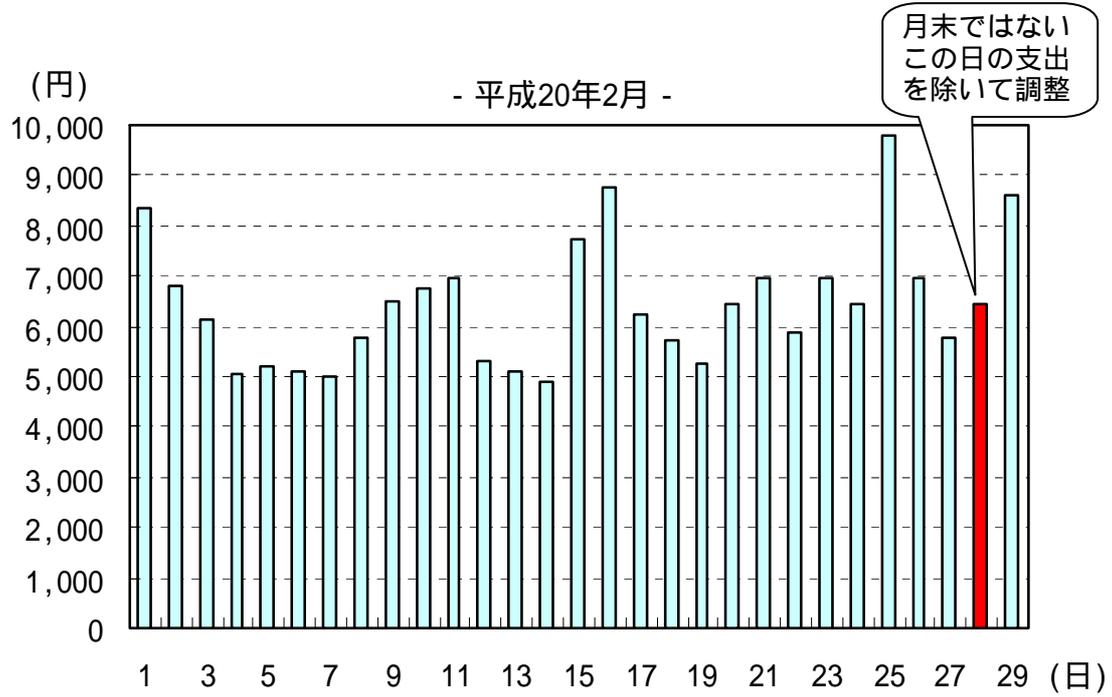
「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。

注1) 学校給食、家賃・地代、火災保険料、電気代、都市ガス、プロパンガス、上下水道料、清掃代、定期代、年極・月極駐車場借料、自動車保険料(自賠責、任意)、自動車保険料以外の輸送機器保険料、電話通信料、授業料等、補習教育・予備校、新聞、月謝、自動車教習料、受信料、インターネット接続料、保育所費用

注2) 用途分類は第6-15表、品目分類は第6-16表。ここでは第6-15表を利用。

注3) 給料日が月末の世帯もあって、28日に比べて29日の支出が多くなっていることから、28日の支出を除くこととした(次のページの図参照)。

図 1世帯当たり1か月間の日別消費支出



(平成20年3月28日 作成)